

令和6年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和7年 3月 31日

事業所名 児童発達支援センター こどもの森

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間が重ならないよう、事前に職員間で話し合いを行っています。 ・児童の特性に応じてスペースを分けたり、時間ごとに分けるなど工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数によっては机の台数が増えてしまう為、教室の狭さを感じてしまう事があります。 ・グループ分けや個別対応が必要な時に部屋が足りない事があります。 →パーティションを活用したり、グループごと活動内容が重ならない工夫をしながら、今後も児童の成長に役立つ過ごし方を工夫していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数に合わせてクラス配置を変更しながら行っています。 ・1対1での対応が必要な児童の活動ができるよう、職員間で連携しながら対応しています。 （環境設定、職員配置の工夫等） ・職員のお休みが重なった場合には、法人内で連携を取り送迎、給食の対応など臨時スタッフ（応援）の対応を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のお休みが重なると、安全面に苦慮する事があります。（担当者会議や見学対応の際も同様） ・職員の配置基準は満たしていますが、さまざまなニーズに対応するためには、人数が不十分だと感じる事があります。 ・職員のお休みが数名出ると活動内容を変更し行っています。十分な療育活動の提供が難しくなってしまう。 ・基準は満たしていますが、児童の状況によって個別対応が必要な時に不足してしまいます。 →基準は満たしていますが、お休みや別件対応があると、ニーズに沿った支援が出来にくくなる場合もあるので、職員の柔軟な配置や活動内容を工夫しながら対応して行けたらと思います。細やかに情報共有し、連携を図りながら療育の充実に向けて取り組んでいきたいと思えます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・児童の身体状況に合わせマットや常設している物とは別の手すりを設置するなどして対応をしています。 ・各部屋には分かりやすいようマークをつけ、活動によって部屋を分けるなどの工夫をしています。 。絵カードを活用しながら発信したり、スケジュールを提示して見通しを伝えたりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすが使用できるトイレはありますが、大人用の為児童には使いづらさがあります。 →身障者用トイレではありませんが、児童の状態に応じては使いづらさがあります。個々の状態に応じて今後も検討しながら調整していきたいと思えます。 →今後も情報伝達等への配慮や安全に使用できる環境作りに努めていきたいと思えます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な室内を保つ為に、毎日清掃、消毒を行っています。 ・整理整頓を心掛け、怪我の防止に努めています。 ・児童が使う物については、取り出し易く収納しやすいよう棚や容器の工夫にも心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の窓が大きい為、換気の際に開ける事が難しいです。（児童の安全面より） →換気扇や空気清浄機の活用に心掛けます。 ・生活空間以外のスペースの清掃が不十分なところがあります。整理など細やかに行っていきます。 ・経年劣化により補修が必要な箇所が出てきている状態です。 →現在、業者に補修工事を申し込んでいます。来年度中に補修を終えるようすすめていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から個別支援会議を月2回実施しています。目標と支援経過の共有、解決に向けた検討がしやすくなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が揃う時間が限られている為、情報が十分に共有できていない事があります。 ・個別の情報等はなかなか共有が難しく不十分なところもありました。 →朝礼の活用の仕方を見直します。今後は情報共有ノートやアプリなどを活用した情報共有も検討していきたいと思えます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方からのご意見が出た際には、職員間でできるだけ早く共有するよう心掛けています。 ・アンケート等の内容をもとに検討、見直しを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> →伝達もれがないよう、ミーティングでも全職員で話し合うようにしていきます。 ・保護者の方から頂いたご意見をもとに今後も改善に繋げていきたいと思えます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価については、保護者の方に配布する際、公表の仕方についてお知らせをし毎年ホームページで公表を行っています。 	

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・コロナ感染の自粛時に中止して以降、再開出来ていません。 来年度は再開を検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	・月2回の職員ミーティングや勉強会などを実施し資質の向上に向けて取り組んでいます。	→個別で研修を受けている事が多いです。全体での研修を増やしていけるよう取り組んでいます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・ご家族からの聞き取りと関係機関への情報収集に加え、OTによる各種発達評価により、ご意向や児童の特性、生活課題を把握した上で作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・児童の特性や能力、行動等の評価に標準化された評価表を活用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・児童の各々必要な支援内容がガイドラインに基づいて話されています。 ・毎月の個別支援会議では、支援内容の振り返りを行っています。	→ガイドラインについて改めて理解を深め、より具体的な支援に繋げていきます。 ケースによっては、十分に行えていない事もありますので、今後はさらに意識して取り組めるよう努めていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・計画書に基づいた活動を意識し支援を行っています。 ・ケース検討を行う事により、スタッフ間の共有も意識し行っています。	→今後も、定期的にミーティングを行い、職員間で内容を再確認しながら支援を行っていくようにしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・担任を中心にOTのアドバイスももらいながら実施しています。 ・異なる職種による視点の違いを活用しながらプログラム立案ができるように心掛けています。	→意見交換や見直し、振り返りがもっと効率よく出来るよう進め方を検討していきたいと思っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・活動の内容は担任やOTが中心になり検討し決定しています。 ・季節に合わせて子ども達が楽しめる活動を日々検討しながら工夫しています。 ・プログラムを日々振り返りながら、児童の発達段階や特性に合ったものになるよう工夫しています。 ・毎日の活動では、運動・机上・感覚遊びなどの活動を取り入れています。内容については、OTを含め関わっているスタッフで事前に検討し、実施後には振り返りを行っています。	→活動プログラムが固定化されないよう、児童の日々の様子を踏まえて今後も工夫していきます。 ・準備に時間がかかってしまう事がある為、簡素化するなど工夫していきます。 ・児童の特性に合った活動だったか振り返り随時修正しながら取り組んでいきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・クラス毎の活動に加え、年齢や特性に応じたグループ活動、個別活動を行う事が出来ました。	→年長児のみ個別の時間を作っていますが、本来どの年齢の児にも必要な為検討していきたいと思っています。 →年長児は定期的にOTの個別活動を設定しています。他の児にも評価や個別指導が必要な場合には取り出しでの指導を行います。集団活動にもOTが入り、その中での個別指導も行っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日朝礼を行い、その日の活動内容や全体の動きの把握、共有を行いました。（メールなども活用） ・その日の活動内容把握、どの児童の対応をするのか、配置等細かなところも確認するよう心掛けました。	・限られた時間で行う為、細やかな打ち合わせができない事があります。 ・パート職員や不在であった職員と共有できない時があります。 →活動内容が充実したものとなるよう、情報共有を効率的に行っていきたいと思っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後には、その日の振り返りを職員間で行いました。（変化や気づきなどの共有）	→前日の児童の様子やケガの様子など共有が不十分なところがあります。今後も全体での朝礼でしっかりと行っていきたいと思っています。 ・職員全体で振り返りや共有する時間が確保しづらいところがあります。 →共有が難しい事が多く、メール等でのやり取りも含め意識的に取り組めるよう心掛けていきたいと思っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・記録ソフトを活用し記録は分担しながら行う事が出来ました。	

	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・モニタリング、個人面談等で保護者の方からのお家での様子やご意向を伺いながら計画書の見直しを行っています。	→今後も保護者の方と細やかにやり取りを行いながら、支援内容についての振り返りを行う事や具体的な支援方法についての検討などを随時行っていきたく思います。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者、担任、個別担当など必要に応じて参画しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・保健師さんや関係機関から情報を頂きながら支援しています。支援課題によっては協力を頂くこともあります。互いに見学や支援者会議を行うなど連携して取り組んでいます。 ・職員を母子保健や子育て支援課に派遣し、協体制を持っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					・今年度は対象となる児童はいません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					・今年度は対象となる児童はいません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・移行時には、双方で情報を共有し話し合いや書類での引継ぎ、その後の連携にも努めています。	→園との情報の共有ややり取りなどまだ不十分なところがあります。今後も意識しながら取り組んでいきたくと思います。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・就学先との話し合い、見学受け入れ、書類提出など情報共有できるようにしています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・市の発達相談や専門的支援をされている事業所から助言を頂いて支援に取り入れています。	→今後も関係機関からの助言を頂きながら、支援の充実を図りたいと思います。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		・保育所等に併用している児童は交流がありますが、そうでない児童は交流の場が持ていません。 →交流できる機会やどのような交流ができるか検討をしていきます。 ・保護者の方によっては交流を希望されない場合もあります。負担のないよう今後も内容の検討を行っていきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・センターの代表が推進協議会に参加しています。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や送迎時間を活用し、気になる事などはできるだけ早く発信するように心掛けています。 ・内容によっては電話でお話したり面談を持ってお話することもあります。	→今後も保護者の方に発信する際は、誤解や認識のずれが生じないよう配慮する事や保護者のご意見を取りこぼさないようにしていきたくと思います。
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○		→今後も保護者会や勉強会などの開催等、更に充実した取り組みができるよう検討していきます。	
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・入園前に説明を行い、お便り等でもお知らせしています。	→今後も保護者の方に内容を分かりやすくお伝えできるよう努めていきます。	
㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・児童発達支援ガイドライン、ご家族の意向に沿った計画書の作成に努め、同意を得るようにしています。		

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方から出たご意向や質問が出た時には上司に相談し、対応をしています。 連絡帳でのやり取りや電話、面談等で相談に対応しています。 	→保護者の方が相談しやすい関係づくりを心掛けていきたいと思っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 保育参観や行事等で保護者の方同士の交流やお子様の日頃の様子を伝えられる機会を作るようにしています。 	→保護者の方の中には、関わりを持つことに抵抗がある方もいます。皆さんが立ち寄りやすい雰囲気づくりに努めていきたいと思っています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 相談等の申し入れがあれば、速やかに事情を伺い手立てをお伝えできるよう努めています。 		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 月に一度、園だよりを発行しています。コドモンを導入する事で、スムーズに情報の発信や連絡が出来るようになりました。 		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 契約時に、個人情報取扱いについての説明と同意書の記入をして頂いています。 職員にも個人情報の保護について周知し守秘義務を課しています。 事業所内では、鍵付のカルテ庫に収納し取扱いには十分注意しています。 		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 絵カード、PECS等で視覚的支援を行っています。 面談、連絡帳、電話だけではなくコドモンなど確実に伝達する為に様々な方法を用いています。 	→今後も絵カード、PECSの使い方を研鑽しながら支援の充実を図ってきたいと思っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			<p>コロナ感染の自粛時に中止して以降、再開出来ていません。</p> <p>来年度は再開を検討します。</p>	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 各々マニュアルに沿って毎月訓練を実施しています。 		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎月、災害訓練を実施し避難経路等の確認を行っています。 	→火災や地震、防犯などの訓練は毎月実施できているが、さまざまな状況を想定しての訓練を今後も実施していきたいと思っています（送迎時や外出時など）年間を通じての安全計画の作成、備蓄品の確保に向けて取り組んでいきます。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 入園前や面談等で確認し、服薬時は投薬依頼書を記入して頂いています。 お薬について不明な事がある場合は、服薬する前に必ず保護者に確認をするようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も児童の健康面に配慮し、安心して過ごす事ができるよう取り組みをしていきます。てんかん等の症状がある場合には、対応についてご家族と検討しマニュアルを作成していきます。 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	/	/	<ul style="list-style-type: none"> 入園前の面談で、食事についての聞き取りを行っています。アレルギー対応が必要な場合には指示書を頂き、必要な対応に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は対象となる児童はいません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 事故に繋がる可能性がある事項について、職員間で共有するようにしています。（ヒヤリハット記入） 小さな玩具は写真を貼り、片付けの際には必ず個数の確認をしています。 		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 呼び方や伝え方など考えながら対応を行っています。 	→職員全体での研修会や勉強会などを短縮活動日や土曜開所日を利用して開催できるようにしていきます。	
	47	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	/	/	/	<ul style="list-style-type: none"> 現在対象となる児童はいません 	

○ この「事業所における自己評価表結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。